

十日町市立小・中学校の
望ましい学区について
(答申)

平成 31 年 3 月

十日町市学区適性化検討委員会

目 次

1	はじめに	1
2	第1次方針の計画期間の検証（進捗状況）及び課題等	2
3	十日町市の児童・生徒数及び学校規模の推移等	
	(1) 児童・生徒数の推移と今後の見通し	3
	(2) 学校規模の推移と今後の見通し	5
	(3) 県内の公立学校の設置状況	8
	(4) その他の状況	10
4	十日町市の学校教育	12
5	国・新潟県が示す学校の適正規模	13
6	十日町市立小・中学校の望ましい学区について（基本方針）	16
	(1) 小学校	17
	(2) 中学校	17
	(3) 小中一貫校	17
7	学区再編計画	
	(1) 小学校	19
	(2) 中学校	21
8	学区再編にあたっての配慮事項と市の諸施策	25
	資料編	27～52

1 はじめに

本委員会は、平成30年7月3日、十日町市教育委員会より「十日町市立小・中学校の望ましい学区について」の諮問を受けました。

平成21年度から30年度までを計画期間とした第1次「十日町市における望ましい小・中学校の在り方に関する方針」では、児童・生徒数の減少により学校の小規模化が進み、複式学級の小学校が増える傾向にあることから、「次代を担う子どもたちにとって、望ましい教育環境はどうあるべきか」という方向性として、「複式学級の解消」を中心とした方針となりました。

第1次の計画期間において、複式学級校であった小学校5校が統合しましたが、未だ11学級の複式学級が存在している中、29年度からは小中一貫校「まつのやま学園」が開校し、新たな形態の学校もできました。小規模校においては、地域の協力も得ながら、小規模校ならではのメリットを生かし、子どもたちは健やかに成長していますが、半面、考え方の多様性の不足や教職員への過重な負担も懸念されています。

中学校においては、単学級の学年が増え、クラス替えができない、自校のみで部活動の団体戦が組めない、また、各教科担任教員の確保ができないなどの状況が見受けられます。

本委員会では、子どもたちにとってより良い教育環境の整備と、充実した学校教育の実現に資するべく、第1次方針の計画期間の検証に基づく課題や学校視察を含め、多方面から審議を重ねました。

小学校の学区再編については、複式学級の早期解消を図るため、目標年度を定めた答申としました。教育委員会の主導のもと、複式学級の解消推進をお願いします。

中学校の学区再編については、今回、新たな方向性として、多様な活動ができ、クラス替えが可能となる1学年2学級以上となる再編と目標年度を定めた答申としました。将来を見据えた中で、学校間・地域間の協議や調整も必要と思いますが、早期の再編を望みます。

子どもたちにとってより良い教育環境の整備と、充実した学校教育の速やかな実現を望み、ここに答申します。

十日町市学区適正化検討委員会

2 第1次方針の計画期間の検証（進捗状況）及び課題等

(1) 第1次方針で統合・再編が位置付けられ、統合した学校

浦田小学校	→	松之山小学校へ統合	平成25年度～
松里小学校	→	松之山小学校へ統合	平成26年度～
孟地小学校	→	松代小学校へ統合	平成26年度～
奴奈川小学校	→	松代小学校へ統合	平成26年度～
倉俣小学校	→	田沢小学校へ統合	平成29年度～

(2) 複式学級及び複式学級が見込まれた小学校のうち、未統合校の状況

※（ ）内は平成30年度の児童数・学級数

飛渡第一小学校（11人・2学級）	→	中条小学校へ未統合
鑑島小学校（52人・5学級）	→	吉田小学校へ未統合
馬場小学校（43人・4学級）	→	水沢小学校へ未統合
橘小学校（54人・4学級）	→	上野小学校へ未統合
貝野小学校（35人・4学級）	→	田沢小学校へ未統合
松之山小学校（52人・4学級）	※浦田小学校、松里小学校が統合済	
→ 平成29年度から併設型の小中一貫校「まつのやま学園」として開校		

(3) 課題等

- ① 第1次の方針で統合・再編が位置付けられた小学校のうち、新たに併設型の小中一貫校としてスタートした松之山小学校を除く5校が未統合です。
地域課題として継続協議中の学校や、具体的に統合に向けて動いた学校もありましたが、結果として統合（複式学級の解消）には至らず、小規模校の特性を生かしながら、学校を運営しています。
- ② 複式学級校から統合（予定）校への就学を希望される保護者もいることから、学区外就学の許可条件の拡大や学区の選択制の導入などの検討が必要です。
- ③ 地域に学校を残したいという地元の思いもあります。
- ④ 第1次計画期間中、学校施設の耐震化のための改築で、望ましいとした12学級以上の施設（教室数）にできなかった学校があります。
- ⑤ 少人数の中学校では部活動の選択種目が限られ、また、団体種目では学校単独では維持できない状況になっています。（複数校による合同チームで大会に参加）
- ⑥ 講師や教育支援員等の人材不足により、十分な人員の配置ができていません。

(4) 小中一貫教育の推進

- ① 市の教育方針の重点に小中一貫教育の推進を掲げ、中学校単位で小学校と連携した教育に力を注いでいます。
- ② 松之山中学校は耐震化に伴う改築移転先を検討した結果、松之山小学校に校舎を併設し、平成29年度から「まつのやま学園」として併設型の小中一貫校をスタートさせました。松之山小学校の複式学級解消には至りませんが、地域の特性や地理的状況からの特殊事情としています。

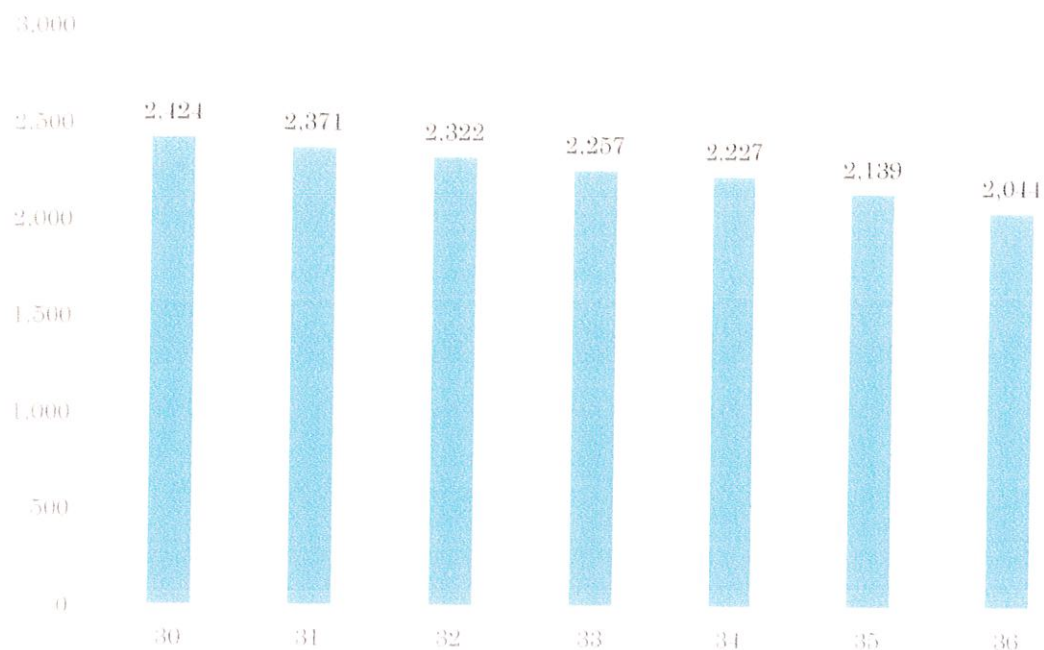
3 十日町市の児童・生徒数及び学校規模の推移等

(1) 児童・生徒数の推移と今後の見通し

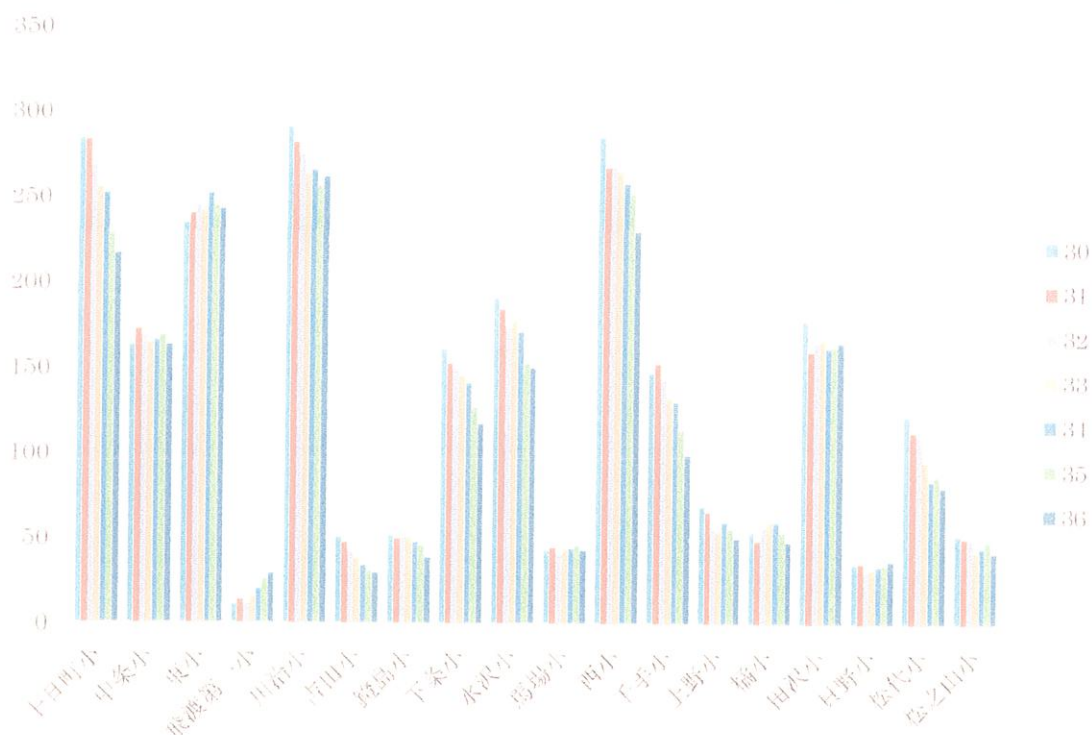
①小学校（平成30年度～36年度）

児童数について、合併当時の平成17年度は3,433人、第1次方針初年度の21年度には3,104人となりました。

30年度は、2,424人で36年度には2,044人となり、減少率は15.7%の見込みです。



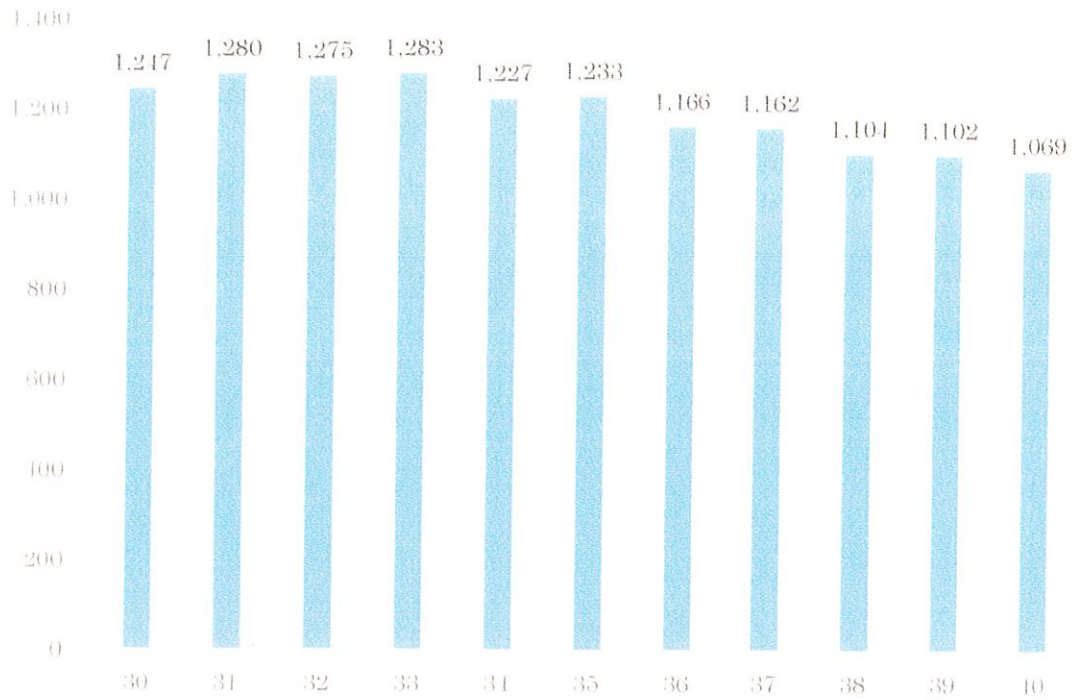
【参考】 小学校別：児童数の推移（平成30年度～36年度）



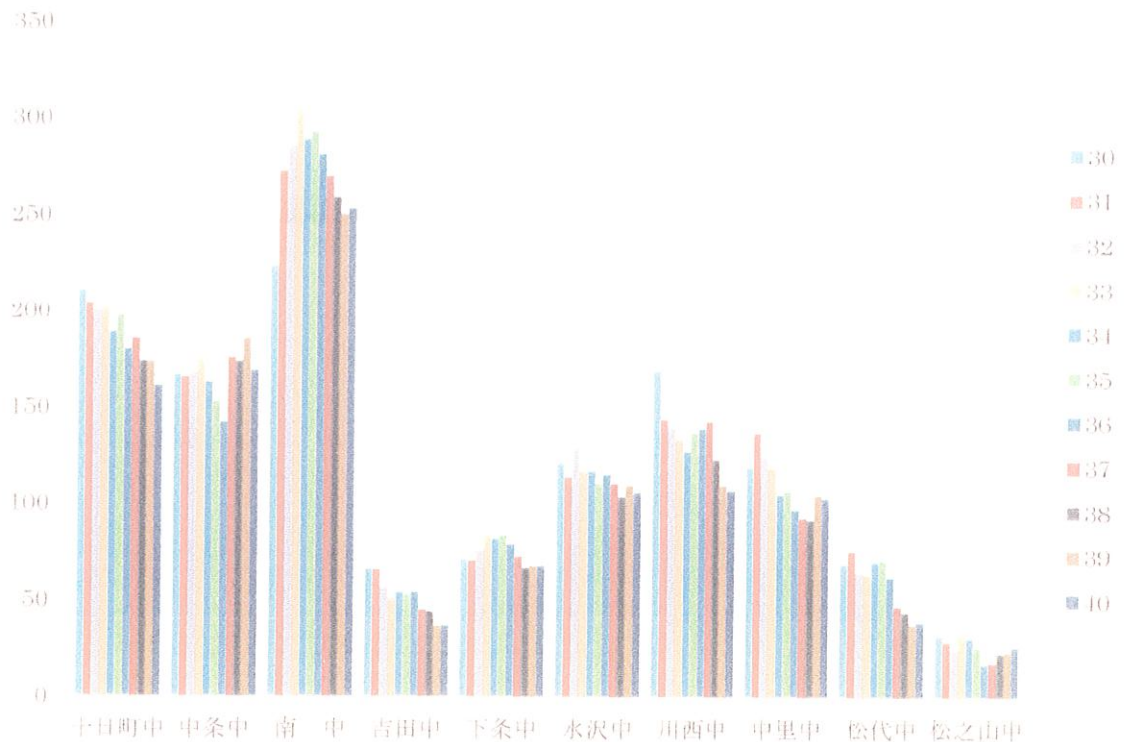
②中学校（平成30年度～40年度）

生徒数について、合併当時の平成17年度は1,890人、第1次方針初年度の21年度には1,617人となりました。

30年度は、1,247人で、40年度には1,069人となり、減少率は14.3%の見込みです。



【参考】 中学校別：生徒数の推移（平成30年度～36年度）



(2) 学校規模の推移と今後の見通し

①小学校【表1】

平成21年度の学校数は23校で、学校規模としては、5学級以下の複式学級校が8校（うち5校が29年度末までに閉校）、6学級から11学級の学校が12校、12学級以上は3校でした。

30年度の学校数は18校で、複式学級校6校、6学級から11学級の学校9校、12学級以上は3校となっています。

なお、このまま推移すると36年度には、複式学級校7校（1校増）、6学級から11学級の学校は11校（2校増）となり、12学級以上の学校は無くなる見込みです。

②中学校【表2】

平成21年度の学校数は10校で、学校規模としては、全学年1学級校は3校、4学級から5学級の学校が2校、6学級以上の学校が5校でした。

30年度は、学校数は変わらず10校で、全学年1学級校は4校、4学級から5学級の学校が2校、6学級以上の学校が4校となっています。

なお、このまま推移すると40年度には、複式学級校の新たな発生は無い見込みですが、全学年1学級校が7校（3校増）となり、6学級以上の学校は3校（1校減）となる見込みです。

凡例

1校当たり6学級以上

複式学級校

規模	平成30年度	平成33年度	平成36年度																																																																		
複式学級校	<table border="1"> <tr><td>飛渡第一</td><td>11人 2学級</td></tr> <tr><td>鐘島</td><td>52人 5学級</td></tr> <tr><td>馬場</td><td>43人 4学級</td></tr> <tr><td>橋</td><td>54人 4学級</td></tr> <tr><td>貝野</td><td>35人 4学級</td></tr> <tr><td>松之山 まつのやま学園</td><td>52人 4学級</td></tr> <tr><td colspan="2">6校</td></tr> </table>	飛渡第一	11人 2学級	鐘島	52人 5学級	馬場	43人 4学級	橋	54人 4学級	貝野	35人 4学級	松之山 まつのやま学園	52人 4学級	6校		<table border="1"> <tr><td>飛渡第一</td><td>16人 4学級</td></tr> <tr><td>鐘島</td><td>51人 5学級</td></tr> <tr><td>馬場</td><td>45人 4学級</td></tr> <tr><td>橋</td><td>61人 5学級</td></tr> <tr><td>貝野</td><td>33人 4学級</td></tr> <tr><td>松之山 まつのやま学園</td><td>43人 4学級</td></tr> <tr><td>吉田</td><td>39人 4学級</td></tr> <tr><td colspan="2">7校</td></tr> </table>	飛渡第一	16人 4学級	鐘島	51人 5学級	馬場	45人 4学級	橋	61人 5学級	貝野	33人 4学級	松之山 まつのやま学園	43人 4学級	吉田	39人 4学級	7校		<table border="1"> <tr><td>飛渡第一</td><td>29人 4学級</td></tr> <tr><td>鐘島</td><td>39人 4学級</td></tr> <tr><td>馬場</td><td>43人 4学級</td></tr> <tr><td>橋</td><td>48人 5学級</td></tr> <tr><td>貝野</td><td>37人 4学級</td></tr> <tr><td>松之山 まつのやま学園</td><td>42人 4学級</td></tr> <tr><td>吉田</td><td>30人 4学級</td></tr> <tr><td colspan="2">7校</td></tr> </table>	飛渡第一	29人 4学級	鐘島	39人 4学級	馬場	43人 4学級	橋	48人 5学級	貝野	37人 4学級	松之山 まつのやま学園	42人 4学級	吉田	30人 4学級	7校																					
	飛渡第一	11人 2学級																																																																			
	鐘島	52人 5学級																																																																			
馬場	43人 4学級																																																																				
橋	54人 4学級																																																																				
貝野	35人 4学級																																																																				
松之山 まつのやま学園	52人 4学級																																																																				
6校																																																																					
飛渡第一	16人 4学級																																																																				
鐘島	51人 5学級																																																																				
馬場	45人 4学級																																																																				
橋	61人 5学級																																																																				
貝野	33人 4学級																																																																				
松之山 まつのやま学園	43人 4学級																																																																				
吉田	39人 4学級																																																																				
7校																																																																					
飛渡第一	29人 4学級																																																																				
鐘島	39人 4学級																																																																				
馬場	43人 4学級																																																																				
橋	48人 5学級																																																																				
貝野	37人 4学級																																																																				
松之山 まつのやま学園	42人 4学級																																																																				
吉田	30人 4学級																																																																				
7校																																																																					
6511学級校	<table border="1"> <tr><td>東</td><td>235人 10学級</td></tr> <tr><td>中条</td><td>163人 6学級</td></tr> <tr><td>吉田</td><td>51人 6学級</td></tr> <tr><td>下条</td><td>161人 6学級</td></tr> <tr><td>水沢</td><td>191人 8学級</td></tr> <tr><td>千手</td><td>147人 6学級</td></tr> <tr><td>上野</td><td>69人 6学級</td></tr> <tr><td>田沢</td><td>178人 7学級</td></tr> <tr><td>松代</td><td>122人 6学級</td></tr> <tr><td colspan="2">9校</td></tr> </table>	東	235人 10学級	中条	163人 6学級	吉田	51人 6学級	下条	161人 6学級	水沢	191人 8学級	千手	147人 6学級	上野	69人 6学級	田沢	178人 7学級	松代	122人 6学級	9校		<table border="1"> <tr><td>東</td><td>242人 10学級</td></tr> <tr><td>中条</td><td>165人 6学級</td></tr> <tr><td>下条</td><td>146人 6学級</td></tr> <tr><td>水沢</td><td>178人 6学級</td></tr> <tr><td>千手</td><td>133人 6学級</td></tr> <tr><td>上野</td><td>55人 6学級</td></tr> <tr><td>田沢</td><td>168人 6学級</td></tr> <tr><td>松代</td><td>96人 6学級</td></tr> <tr><td>十日町</td><td>256人 11学級</td></tr> <tr><td>川治</td><td>264人 11学級</td></tr> <tr><td colspan="2">10校</td></tr> </table>	東	242人 10学級	中条	165人 6学級	下条	146人 6学級	水沢	178人 6学級	千手	133人 6学級	上野	55人 6学級	田沢	168人 6学級	松代	96人 6学級	十日町	256人 11学級	川治	264人 11学級	10校		<table border="1"> <tr><td>東</td><td>243人 11学級</td></tr> <tr><td>中条</td><td>163人 6学級</td></tr> <tr><td>下条</td><td>117人 6学級</td></tr> <tr><td>水沢</td><td>150人 6学級</td></tr> <tr><td>千手</td><td>99人 6学級</td></tr> <tr><td>上野</td><td>50人 6学級</td></tr> <tr><td>田沢</td><td>165人 6学級</td></tr> <tr><td>松代</td><td>80人 6学級</td></tr> <tr><td>十日町</td><td>217人 9学級</td></tr> <tr><td>川治</td><td>262人 11学級</td></tr> <tr><td>西</td><td>230人 10学級</td></tr> <tr><td colspan="2">11校</td></tr> </table>	東	243人 11学級	中条	163人 6学級	下条	117人 6学級	水沢	150人 6学級	千手	99人 6学級	上野	50人 6学級	田沢	165人 6学級	松代	80人 6学級	十日町	217人 9学級	川治	262人 11学級	西	230人 10学級	11校	
東	235人 10学級																																																																				
中条	163人 6学級																																																																				
吉田	51人 6学級																																																																				
下条	161人 6学級																																																																				
水沢	191人 8学級																																																																				
千手	147人 6学級																																																																				
上野	69人 6学級																																																																				
田沢	178人 7学級																																																																				
松代	122人 6学級																																																																				
9校																																																																					
東	242人 10学級																																																																				
中条	165人 6学級																																																																				
下条	146人 6学級																																																																				
水沢	178人 6学級																																																																				
千手	133人 6学級																																																																				
上野	55人 6学級																																																																				
田沢	168人 6学級																																																																				
松代	96人 6学級																																																																				
十日町	256人 11学級																																																																				
川治	264人 11学級																																																																				
10校																																																																					
東	243人 11学級																																																																				
中条	163人 6学級																																																																				
下条	117人 6学級																																																																				
水沢	150人 6学級																																																																				
千手	99人 6学級																																																																				
上野	50人 6学級																																																																				
田沢	165人 6学級																																																																				
松代	80人 6学級																																																																				
十日町	217人 9学級																																																																				
川治	262人 11学級																																																																				
西	230人 10学級																																																																				
11校																																																																					
12学級以上	<table border="1"> <tr><td>十日町</td><td>284人 12学級</td></tr> <tr><td>川治</td><td>291人 12学級</td></tr> <tr><td>西</td><td>285人 12学級</td></tr> <tr><td colspan="2">3校</td></tr> </table>	十日町	284人 12学級	川治	291人 12学級	西	285人 12学級	3校		<table border="1"> <tr><td>西</td><td>266人 12学級</td></tr> <tr><td colspan="2">1校</td></tr> </table>	西	266人 12学級	1校		なし																																																						
十日町	284人 12学級																																																																				
川治	291人 12学級																																																																				
西	285人 12学級																																																																				
3校																																																																					
西	266人 12学級																																																																				
1校																																																																					
	18校 2,424人 120学級	18校 2,257人 116学級	18校 2,044人 112学級																																																																		

凡例

- 1校当たり6学級以上
- 1校当たり4～5学級
- 1校当たり3学級以下

規模	平成30年度	平成35年度	平成40年度	参考：平成42年度
3学級以下	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">吉田</div> 66人 3学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">吉田</div> 53人 3学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">吉田</div> 37人 3学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">吉田</div> 32人 3学級
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">下条</div> 71人 3学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">下条</div> 84人 3学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">下条</div> 68人 3学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">下条</div> 49人 3学級
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">松代</div> 69人 3学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">松代</div> 71人 3学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">松代</div> 39人 3学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">松代</div> 42人 3学級
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">松之山</div> 32人 3学級 まつのやま学園	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">松之山</div> 26人 3学級 まつのやま学園	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">松之山</div> 26人 3学級 まつのやま学園	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">松之山</div> 18人 3学級 まつのやま学園
	4校	4校	7校	7校
4～5学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">水沢</div> 121人 5学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">水沢</div> 111人 4学級		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">中里</div> 119人 4学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">中里</div> 107人 4学級		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">川西</div> 137人 5学級		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">中条</div> 153人 5学級		
	2校	4校	なし	なし
6学級以上	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">十日町</div> 210人 6学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">十日町</div> 198人 6学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">十日町</div> 161人 6学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">十日町</div> 134人 6学級
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">中条</div> 167人 6学級		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">中条</div> 169人 6学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">中条</div> 158人 6学級
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">南</div> 223人 8学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">南</div> 293人 9学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">南</div> 253人 9学級	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">南</div> 245人 8学級
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">川西</div> 169人 6学級			
	4校	2校	3校	3校
	10校 1,247人 47学級	10校 1,233人 45学級	10校 1,069人 42学級	10校 945人 41学級

(3) 県内の公立学校の設置状況

- ①小学校 ・ 1校当たりの児童数は、県内平均 238 人
 ・ 十日町市は 140 人で、20 市中 17 位

市名	住民基本台帳人口	学校数・児童数			学級数				教員(本務者)	
		学校数 ①	児童数 ②	1校当児童数 ②/①	計	単式	複式	特支	教員数 ③	1教員当児童数 ②/③
新潟市	803,401	108	39,896	369	1,696	1,449	11	236	2,408	17
長岡市	271,945	58	14,027	242	674	547	19	108	1,012	14
三条市	97,697	20	4,815	241	243	194	1	48	375	13
柏崎市	85,086	20	3,916	196	211	153	10	48	337	12
新発田市	97,474	21	4,828	230	248	190	4	54	373	13
小千谷市	35,720	8	1,845	231	88	69	3	16	140	13
加茂市	27,045	7	1,132	162	60	49	2	9	99	11
十日町市	53,230	18	2,513	140	153	110	10	33	249	10
見附市	40,203	8	1,900	238	100	67	7	26	145	13
村上市	60,848	20	2,557	128	173	129	7	37	282	9
燕市	78,891	15	3,983	266	190	155	0	35	282	14
糸魚川市	42,924	16	1,917	120	123	85	15	23	201	10
妙高市	32,458	8	1,442	180	87	63	1	23	143	10
五泉市	50,114	9	2,234	248	103	88	0	15	158	14
上越市	194,198	51	10,071	197	527	415	12	100	824	12
阿賀野市	42,502	8	2,025	253	91	76	0	15	140	14
佐渡市	55,342	23	2,373	103	166	114	17	35	280	8
魚沼市	36,329	9	1,668	185	95	73	1	21	155	11
南魚沼市	57,492	19	2,951	155	171	134	4	33	275	11
胎内市	29,644	5	1,346	269	63	47	0	16	101	13
20市計	2,192,543	451	107,439	238	5,262	4,207	124	931	7,979	13
町村計	77,721	21	3,477	166	196	140	16	40	321	11
県計	2,270,264	472	110,916	235	5,458	4,347	140	971	8,300	13

資料：平成29年度学校基本調査

* 住民基本台帳人口：平成29年4月1日現在

教員(本務者)：県費教員(校長、教頭、教諭、助教諭、講師、養護教諭、栄養教諭等)

1校当たり・1教員当たり児童数：小数点以下四捨五入

- ②中学校 ・ 1校当たりの生徒数は、県内平均 245 人
 ・ 十日町市は 125 人で、20 市中 18 位

市名	住民基本 台帳人口	学校数・生徒数			学級数				教員（本務者）	
		学校数 ①	生徒数 ②	1校当 生徒数 ②/①	計	単式	複式	特支	教員数 ③	1教員当 生徒数 ②/③
新潟市	803,401	61	20,133	330	757	646	1	110	1,468	14
長岡市	271,945	29	7,387	255	289	239	0	50	597	12
三条市	97,697	9	2,499	278	105	82	0	23	218	11
柏崎市	85,086	12	2,004	167	99	71	0	28	214	9
新発田市	97,474	10	2,375	238	103	79	0	24	222	11
小千谷市	35,720	5	919	184	42	33	0	9	95	10
加茂市	27,045	5	608	122	28	24	0	4	72	8
十日町市	53,230	10	1,248	125	63	47	0	16	154	8
見附市	40,203	4	1,031	258	42	32	0	10	87	12
村上市	60,848	8	1,371	171	59	44	0	15	136	10
燕市	78,891	5	2,037	407	74	61	0	13	151	13
糸魚川市	42,924	4	1,034	259	43	34	0	9	93	11
妙高市	32,458	3	790	263	34	24	0	10	73	11
五泉市	50,114	4	1,348	337	51	42	0	9	100	13
上越市	194,198	23	4,992	217	215	169	0	46	458	11
阿賀野市	42,502	4	1,110	278	45	36	0	9	100	11
佐渡市	55,342	13	1,104	85	62	43	3	16	162	7
魚沼市	36,329	6	968	161	46	35	0	11	105	9
南魚沼市	57,492	6	1,484	247	60	48	0	12	126	12
胎内市	29,644	4	684	171	29	22	0	7	66	10
20市計	2,192,543	225	55,126	245	2,246	1,811	4	431	4,697	12
町村計	77,721	12	1,814	151	90	68	1	21	205	9
県計	2,270,264	237	56,940	240	2,336	1,879	5	452	4,902	12

資料：平成29年度学校基本調査

* 住民基本台帳人口：平成29年4月1日現在

教員（本務者）：県費教員（校長、教頭、教諭、助教諭、講師、養護教諭、栄養教諭等

1校当たり・1教員当たり生徒数：小数点以下四捨五入

(4) その他の状況

① 小学校・中学校教職員配当基準 (抜粋)

教諭の配当基準 (人数)

学級数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
教諭数 (人)	小学校	1	2	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14
	中学校	2	4	6	7	8	9	11	13	14	16	18	19

※教諭数には校長、教頭、養護教諭、事務職員を含まない

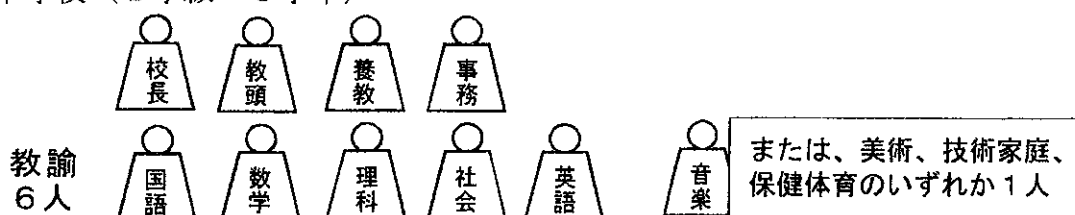
※養護教諭等：3学級以上の学校に1人配当

事務職員：4学級～26学級の学校に1人配当

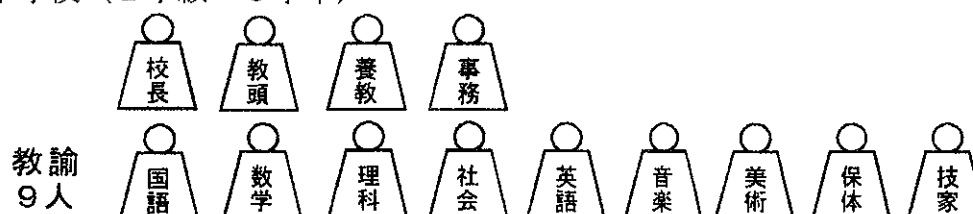
3学級以下の学校で県が認めた学校に1人配当

② 中学校教諭等の配当例

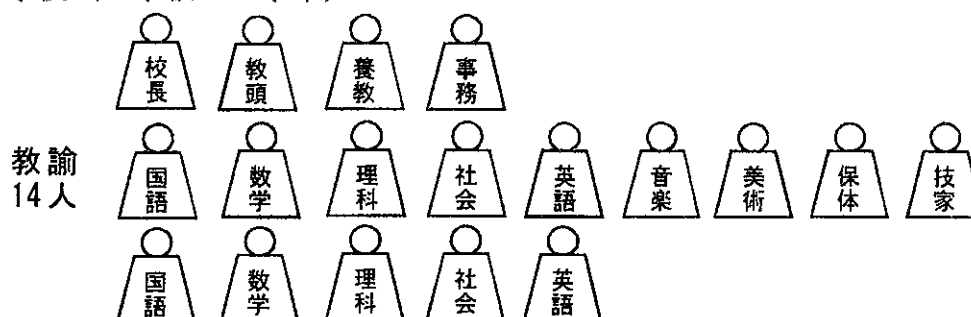
A 中学校 (1学級×3学年)



B 中学校 (2学級×3学年)



C 中学校 (3学級×3学年)



③中学校の部活動の状況（平成30年度）

No		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		男部員数	女部員数	男女合計		
学校名		十日町		中条		南		吉田		下条		水沢		川西		中里		松代		松之山						
部活名称	男女別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
1	陸上競技	14	21	27	12	16	23	31	12	26	7	13	22	32	17	20	8	22	11	10	11	211	144	355		
2	水泳																					0	0	0		
3	バスケットボール	11	13	16	12	8	15					14	12	13		19	10					81	62	143		
4	サッカー																					0	0	0		
5	ハンドボール																					0	0	0		
6	軟式野球	25	1	31		30	1	5		9		14		17		11		1		7	150	2	152			
7	体操競技																					0	0	0		
8	新体操																					0	0	0		
9	バレーボール		23		17		15			13		15		15				15				0	113	113		
10	ソフトテニス	19	17			19	19		12					16								38	64	102		
11	卓球	25	12	15	9	12	14					12	0	23	3	19	5					106	43	149		
12	バドミントン																					0	0	0		
13	ソフトボール																					0	0	0		
14	柔道																					0	0	0		
15	剣道					10	3															10	3	13		
16	相撲																					0	0	0		
17	スキー	クロスカンパニー	4	2	0	0	9	11	17	7	6	2	4	3	8	2	4	2	2	2	2	2	0	56	31	87
		ジャンプ																					0	0	0	
		アルペン					1										3	0	4	2	2	2	10	4	14	
18	吹奏楽(音楽)	2	13	2	15	3	17	1	6	2	14	2	8	1	23	4	16	4	13	2	2	23	127	150		
19	文化部(文化総合)	2	0	4	7																	6	7	13		
男女別計		102	102	95	72	108	118	54	37	43	36	59	60	94	76	80	41	33	43	23	15	691	600	1291		
合計		204		167		226		91		79		119		170		121		76		38				1291		

4 十日町市の学校教育

(1) 目指す子どもの姿

十日町市が目指す子どもの姿は、「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」です。この実現に向け、小・中学校の共通課題である「学力の向上」、「不登校児童生徒の減少」及び「特別支援教育の充実」を図るべく、各種の事業や取組を推進しています。

(2) 小中一貫教育の取組

小中一貫教育は、子どもの豊かな「学び」と「育ち」の実現を目指して、小学校6年・中学校3年の義務教育9年間を見通した継続性・系統性・計画性を生かすことのできる新しい形態の教育活動です。

十日町市では、平成22年9月に策定した「十日町市小中一貫教育基本計画」に基づく実施計画を定め、平成23年度から3年間4つのモデル中学校区で試行した後、平成26年度から全ての中学校区で小中一貫教育をスタートしました。

従来 of 6・3制を維持した上で、小学校から中学校への円滑な連携・接続を図るため、小学校、中学校の教員が9年間を学びのくくりとした学習指導、生徒指導等を進めています。

(3) コミュニティ・スクールの取組

十日町市のコミュニティ・スクールは、平成29年度にモデル校2校における試行において課題や成果を検証し、平成30年度から全小・中・特別支援学校でスタートしました。

これまでも各学校では学校評議員制度により、委員の意見を学校運営に反映してきました。コミュニティ・スクールでは、この仕組みを発展させた「学校運営協議会」により、さらに多くの地域住民や保護者が関わることで社会総がかりで子どもを育むことを目指しています。

学校運営協議会は、学校運営の基本方針や教育活動について審議しています。今後は、小中一貫教育の推進や地域の教育課題の解決について、学校と地域との連携をさらに進めます。

5 国・新潟県が示す学校の適正規模

(1) 学校規模の適正化に関する基本的な考え方

国の示す小・中学校規模の適正化に関する基本的な考えとして、「児童・生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国家、社会の形成者としての基本的資質を養うことを目的とし、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、児童・生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要」としています。

(2) 適正規模・適正配置の検討の際に考慮すべき視点

【小規模校の課題】

①メリット

- ・一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい
- ・意見や感想を発表できる機会が多くなる
- ・異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる
- ・児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる

②デメリット

- ・クラス替えが全部又は一部の学年でできない
- ・クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない
- ・加配なしに習熟度別指導などクラスの枠を超えた多様な指導形態がとりにくい
- ・集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい
- ・クラブ活動や部活動の種類が限定される
- ・体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる
- ・協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる
- ・多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい
- ・教員に特別な指導技術が求められる
- ・経験年数、専門性、男女比等バランスのとれた教職員配置や指導の充実が困難となる。

③統合事例から見える効果

- ・良い意味での競い合いが生まれた、向上心が高まった
- ・以前よりもたくましくなった、教師に対する依存心が減った
- ・社会性やコミュニケーション能力が高まった
- ・多様な意見に触れる機会が増えた
- ・グループ学習や班活動が活性化した、授業で多様な意見を引き出せるようになった
- ・音楽、体育等における集団で行う教育活動、運動会や学芸会、クラブ活動、部活動などが充実した
- ・少人数指導や習熟度別指導などの多様な指導形態が可能になった
- ・バランスの取れた教員配置が可能となった、免許外指導が解消又は減少した
- ・保護者同士の交流関係が広がった、PTA活動が活性化した、学校と地域との連携協働関係が強化された

※上記(1)(2)：「公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」
(平成27年1月文部科学省)より抜粋

(3) 国・新潟県が示す学校の適正規模等

①学級数

国：小・中学校とも12学級以上18学級以下を標準

県：同上

ただし、豪雪・中山間地である等の地域特性から6学級以上、学級規模は1学級20人程度以上が望ましい。

②通学距離

国：おおむね小学校4km、中学校6km以内

県：同上

③通学時間

国：通学実態の多様化から、1時間以内を一応の目安として市町村が判断

県：交通機関を利用する場合であってもおおむね1時間以内

(4) 新潟県公立小・中学校学級編制基準

①新潟県の学級編制基準（平成30年度）

小学校 ア同学年の児童で編制する1学級の児童数は、第1学年は原則として35人以下とし、第2学年から第6学年までは、原則として40人以下とする。ただし、第1・2学年については県の同意により32人以下とする。

イ引き続き2の学年の児童数の合計が16人以下の場合は、1学級編制とする。ただし、第1学年の児童を含む学級にあつては、8人以下とする。

ウ飛び複式学級のいずれか1の学年の児童数が8人（第1学年を含む学級にあつてはいずれか1の学年の児童数が4人）を超えるものについては、当該2個学年による飛び複式学級は編制しない。

エ学校教育法第81条に規定する特別支援学級の1学級の児童数は8人以下とする。

中学校 ア同学年の生徒で編制する1学級の生徒数は、40人以下とする。

イ引き続き2の学年の生徒数の合計が8人以下の場合は、1学級編制とする。ただし、引き続き2の学年が第1学年と第3学年の場合、いずれか1の学年の生徒数が4人を超えるものについては、飛び複式学級は編制しない。

ウ学校教育法第81条に規定する特別支援学級の1学級の生徒数は8人以下とする。

※市町村教育委員会は、県教育委員会が定めた上記基準を標準とし、児童又は生徒の実態を考慮して、学級編制を行うものとする。

6 十日町市立小・中学校の望ましい学区について（基本方針）

十日町市では、「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」の育成を目指し、十日町市の人・自然・文化等を生かし、共生の理念を大切にしつつ、児童・生徒が個性を発揮して社会で自立して生きる基礎を培う創意ある教育課程を編成し、実施することを目指しています。

十日町市の小・中・支援学校では、地域の人・こと・ものと結びついた特色ある教育活動を展開してきました。さらに、自立して社会で生きる子どもの育成を図るには、多様な考えや特性を持つ児童・生徒が、学習活動や集団形成を通じて、様々な価値観に触れ、多様な人間関係を体験し学ぶことにより、社会性や協調性を培いながら、より良い人間関係を築いていくことが望ましいと思われれます。

小学校では、現在でも5校（まつのやま学園を除く）の複式学級校が残っている状況にあります。複式学級では、1学級で指導と自習を組み合わせる2学年分の授業を行うことや、科目によっては学年順に学ぶ内容の順番を変えて、例えば3年生で4年生の授業をすることがあります。やはり、児童や教員には少なからず負担になるものと考えます。

中学校では、学級数が少ないために6人の教員しか配置されず、教科担任が不足し、学校掛け持ちの非常勤講師や免許外教科担任で対応せざるを得ない状況があります。少人数の中学校では、部活動の選択種目が限られ、また、団体種目を学校単独では維持できない状況があります。それに加えて、人材不足により、市で採用する教育支援員等にも、欠員が生じる状況になりました。

そのために、ある程度の児童・生徒数による適正な学級規模を確保して、学校が持つ機能と役割を充実させることで、活力のある学校づくりが可能になると考えます。

そこで、本答申において、小学校は、第1次方針の複式学級の解消を踏襲し、中学校は、新たな考え方で統合・再編を進めるべきと考えます。

児童・生徒の教育環境の改善を中心に、今後の方向性を明確にするには、小学校、中学校とも「1学年当たりの学級数」に絞って規定し、通学距離等は、国・県の示す基準を適用します。

また、本答申では、統合・再編の表記を総称して「再編」とし、再編により新たな学校を作り上げていく考え方として、将来を見据えた中で、適時に学校名等についても検討すべきとします。

なお、松之山中学校は校舎の耐震化による建て替えに際し、松之山小学校に校舎を併設して建設し、併設型の小中一貫校まつのやま学園として、平成29年度に開校

しました。まつのやま学園は、全市を学区として開校したばかりであることや、地理的条件に配慮して、今回の再編計画においては対象外とします。

(1) 小学校・・・**1学年1学級以上であること**

第1次方針において、1校当たり12学級以上が望ましいとしつつも、複式学級が解消される1校当たり6学級以上としました。

第2次方針においても、第1次方針を引き継ぎ、複式学級が解消される「1学年1学級以上であること」とし、複式学級の早期解消のため、目標年度を平成33年度または平成34年度とします。

また、第1次方針の期間中に耐震化等の大規模な施設改修等が完了していることから、今回は原則、大規模な改修等が不要な範囲での計画とします。

なお、複式学級校から再編先への就学を希望する児童・保護者にも配慮し、学区の再編が確定した場合の新入学児童に対する学区外就学許可条件の検討を願います。

(2) 中学校・・・**1学年2学級以上であること**

第1次方針において、1校当たり9学級程度が望ましいとしつつも、全中学校において計画期間中に1学年当たり1学級以上が見込まれたことから、10中学校を維持することとしました。

第2次方針においては、クラス替えが可能で、学級数が確保されることで、教科担任が十分に配置され、多様な教育活動を行うことができる「1学年2学級以上であること」とします。生徒数の減少傾向を勘案し、第1目標年度を平成35年度、第2目標年度を平成40年度とします。

また、中学校施設においても、原則、大規模改修等を行わず、既存の学校施設を活用することとします。

なお、東小学校については、十日町中学校と中条中学校へ分かれて進学する学区の設定になっていますが、今回の中学校再編に合わせて、全員が十日町中学校へ進学することが望まれます。

保護者・地域への説明や協議、学校間の調整等、検討・準備期間も必要となりますが、早期に取組を進めてください。

(3) 小中一貫校

望ましい教育環境としては、ある程度の学級数や児童・生徒数、教職員数が必

要であり、小規模の小学校と小規模の中学校による小中一貫校では、本答申における望ましい教育環境にはならないため、小規模の小中一貫校の設置には課題があります。

まつのやま学園の松之山中学校は、本答申の計画期間内には学級数が変わらない見込みですが、生徒数が減少して複式学級が見込まれる場合には、再編の対象とされるよう検討が必要です。

7 学区再編計画

(1) 小学校の再編【表3】

- ① 再編方針：1学年1学級以上であること（第1次方針を踏襲）
 ② 目標年度：平成33年度または平成34年度（平成34年4月には複式解消）

学校名	学区再編計画	備考
中条小学校 ----- 飛渡第一小学校	中条小学校に再編	
吉田小学校 ----- 鑑島小学校	吉田小学校に再編	・吉田小は給食配送設備済 ・必要により学校名等検討
水沢小学校 ----- 馬場小学校	水沢小学校に再編	
上野小学校 ----- 橘小学校	上野小学校に再編	・学校建築年の新しい施設を使用 ・必要により学校名等検討
田沢小学校 ----- 貝野小学校	田沢小学校に再編	・中里地域で小学校1校となるため、 必要により学校名等検討

③ 小学校の再編スケジュール（※平成34年4月に複式解消の場合）

時期	内容	備考
平成31年度～ 平成32年8月 頃まで	①市が地域、保護者（未就学児含む）に 方針説明 ②保護者（未就学児含む）の同意、要望 等を集約 ③市が地域自治組織へ公の施設に関する 協議	・再編先の学校 を含む ・必要により校 歌、校章を含 め、学校名等 を検討する
平成32年9月 まで	地域自治組織から回答（意見具申）	
平成32年12月 （または平成33年3月）	学校設置条例の改正	12月議会 （または3月議会）
平成33年度	・複式解消のための授業調整（1年間） ・交流事業を充実 ----- ・閉校記念式典 ・学校指定用品等購入	教員1名加配 市補助制度を利用
平成34年4月～	複式学級が解消	教員1名加配 （2年間）

凡例 . . . 1校当たり6学級以上
複式学級校

地域	平成30年度		平成34年度 (再編後)		参考：平成36年度 再編しない場合				
		人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数		
十日町	十日町	284人	12学級	十日町	252人	12学級	十日町	217人	9学級
	東	235人	10学級	東	252人	11学級	東	243人	11学級
	中条	163人	6学級	中条 166人 飛渡第一 20人	186人	7学級	中条	163人	6学級
	飛渡第一	11人	2学級		20人	7学級	飛渡第一	29人	4学級
	川治	291人	12学級	川治	266人	11学級	川治	262人	11学級
	西	285人	12学級	西	258人	12学級	西	230人	10学級
	吉田	51人	6学級	吉田 34人 鏡島 48人	82人	6学級	吉田	30人	4学級
	鏡島	52人	5学級		48人	6学級	鏡島	39人	4学級
				※学校名等検討					
	下条	161人	6学級	下条	141人	6学級	下条	117人	6学級
	水沢	191人	8学級	水沢 171人 馬場 44人	215人	8学級	水沢	150人	6学級
	馬場	43人	4学級		44人	8学級	馬場	43人	4学級
	千手	147人	6学級	千手	130人	6学級	千手	99人	6学級
	上野	69人	6学級	上野 60人 橋 60人	120人	6学級	上野	50人	6学級
	橋	54人	4学級		60人	6学級	橋	48人	5学級
				※学校名等検討					
	田沢	178人	7学級	田沢 162人 貝野 34人	196人	8学級	田沢	165人	6学級
貝野	35人	4学級	34人		8学級	貝野	37人	4学級	
			※学校名等検討						
松代	122人	6学級	松代	84人	6学級	松代	80人	6学級	
	(17校)		(12校)			(17校)			
松之山	52人	4学級	松之山	45人	4学級	松之山	42人	4学級	
	まつのやま学園		まつのやま学園			まつのやま学園			
	18校	2,424人 120学級	13校	2,227人 103学級		18校	2,044人 112学級		

(2) 中学校の再編【表 4】

① 再編方針：1 学年 2 学級以上であること

②-1 第 1 目標年度：平成 35 年度（平成 35 年 4 月までに再編）

※東小学校から中学校への学区を再編

※1 校当たり 3 学級及び 4 学級の中学校が対象

学校名	学区再編計画	備 考
十日町中学校	東小学校区全域を 十日町中学校区に再編	
南中学校	南中学校に再編	・必要により学校名等検討
吉田中学校		
松代中学校		
中条中学校	中条中学校に再編	・中条小、(飛一小)、下条小学校区 が対象 ・必要により学校名等検討
下条中学校		
水沢中学校	水沢中学校に再編	・必要により学校名等検討 ・水沢中は給食配送設備済 ・学校建築年の新しい施設を使用
中里中学校		

②-2 第 2 目標年度：平成 40 年度（平成 40 年 4 月までに再編）

※川西中学校が対象（第 1 目標年度に教室数の不足により再編できないため）

学校名	学区再編計画	備 考
(再編後の) 中条中学校(仮)	(再編後の) 中条中学校 (仮) に再編	・必要により学校名等検討
川西中学校		

凡例 . . .

1校当たり6学級以上

1校当たり4~5学級

1校当たり3学級以下

平成30年度	第1目標：平成35年度	第2目標：平成40年度	参考：平成42年度	対象小学校
<p>十日町 210人 6学級 最大学級9+特支2</p> <p>中条 167人 6学級 最大学級9+特支2</p> <p>下条 71人 3学級 最大学級4+特支2</p> <p>川西 169人 6学級 最大学級6+特支(狭)2</p> <p>南 223人 8学級 最大学級12+特支2</p> <p>吉田 66人 3学級 最大学級5+特支1</p> <p>松代 69人 3学級 最大学級8+特支1</p> <p>水沢 121人 5学級 最大学級8+特支2</p> <p>中里 119人 4学級 最大学級7+特支2</p> <p>松之山 32人 3学級 まつのやま学園</p> <p>10校 1,247人 47学級</p>	<p>十日町 263人 8学級 (十日町小 144人) (東小 119人)</p> <p>中条 88人 下条 84人 172人 6学級 ※中条小、(飛一小)、下条小の全校区 ※先を見据えた学校名等検討</p> <p>川西 137人 5学級</p> <p>南 293人 吉田 53人 松代 71人 417人 12学級 ※学校名等検討</p> <p>水沢 111人 中里 107人 218人 6学級 ※学校名等検討</p> <p>(5校)</p> <p>松之山 26人 3学級 まつのやま学園</p> <p>6校 1,233人 40学級</p>	<p>十日町 240人 8学級 (十日町小 119人) (東小 121人)</p> <p>中条 90人 下条 68人 川西 107人 265人 9学級 ※先を見据えた学校名等検討</p> <p>南 253人 吉田 37人 松代 39人 329人 9学級</p> <p>水沢 106人 中里 103人 209人 6学級</p> <p>(4校)</p> <p>松之山 26人 3学級 まつのやま学園</p> <p>5校 1,069人 35学級</p>	<p>十日町 203人 6学級 (十日町小 90人) (東小 113人)</p> <p>中条 89人 下条 49人 川西 87人 225人 9学級</p> <p>南 245人 吉田 32人 松代 42人 319人 9学級</p> <p>水沢 83人 中里 97人 180人 6学級</p> <p>(4校)</p> <p>松之山 18人 3学級 まつのやま学園</p> <p>5校 945人 33学級</p>	<p>十日町 東(全区)</p> <p>中条・飛一 下条 千手 上野・橘</p> <p>川治 西 吉田・鏡島 松代小</p> <p>水沢・馬場 田沢・貝野</p> <p>松之山</p>

中学校再編学区位置図【表4】



③ 中学校の再編スケジュール

第1目標年度（平成35年度）に再編の場合

時 期	内 容	備 考
平成31～32年度	<ul style="list-style-type: none"> ①市が地域自治組織、保護者会、地域住民に方針説明 ②保護者会の同意・要望書 ③公聴会における意見を集約 ④市が地域自治組織へ公の施設に関する協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民には公聴会を開催 ・必要により校歌、校章を含め、学校名等を検討する
平成33年9月まで	地域自治組織から回答（意見具申）	
平成33年12月 （または平成34年3月）	学校設置条例の改正	12月議会 （または3月議会）
平成34年度	・交流事業を充実	市補助制度を利用
	<ul style="list-style-type: none"> ・閉校記念式典 ・学校指定用品等購入補助 	
平成35年4月～	・再編校における授業開始	

第2目標年度（平成40年度）に再編の場合

平成40年4月からの再編校における授業開始を最終目標とし、必要とするスケジュールは第1目標年度と同様の必要期間とする。

8 学区再編にあたっての配慮事項と市の諸施策

(1) 配慮事項

学校の再編は、単に複数の学校を一つにまとめることにとどまらず、相互の学校の良いところを引き継ぎながら、新たな学校をつくることであると考えます。学校名の検討等を含め、地域に根ざした特色ある新しい学校教育を実現するために、多方面に配慮しながら進めていただきたいと思います。

① 子どもたちの学習環境

- ・より良い環境で学習ができる状況をつくりだすことを第一義に考え、あわせて保護者や地域住民の理解と協力が得られるよう十分に協議する。
- ・再編までの間、相互の学校を行き来する交流学习等を充実させる。
- ・再編前後において、望ましい教育環境の実現を図るための加配教員の配置を新潟県に働きかける。

② 再編後の特色ある学校づくり

- ・相互の学校や地域の良さを生かした特色ある学校づくりに努める。
- ・相互の地域を学ぶことで、多様性が育まれるよう努める。
- ・地域のスペシャリストによる地域教育に取り組むよう努める。
- ・再編後の新しい枠組みでの小中一貫教育を学校運営協議会と連携し推進する。

③ 閉校による不安の解消

- ・保護者同士の親ぶくを深め、再編による不安（新たな環境の変化による学力面、学校生活に対する不安等）の解消に努める。
- ・学校は、長い歴史をもつ地域の拠点的施設であることから、閉校後の施設の活用については、市全体の課題として検討する。
- ・地域が実施する閉校記念事業や再編先の学校指定用品の購入費に対し補助する。
- ・遠距離通学となる場合は、スクールバス等の運行による安全安心な通学方法を確保する。

(2) 市の諸施策（巻末：資料編に掲載）

上記の配慮事項に対する市の諸施策の検討

- ① 学区外・区域外就学許可要綱
- ② 学区再編記念事業補助
- ③ 再編に伴う学校指定用品購入費補助
- ④ 遠距離通学費補助